

第31回 鶴岡市建設優秀賞

8部門、18名、1社の受賞が決定しました。
受賞された皆様、おめでとうございます！
表彰式：10/31（月） 場所：東京第一ホテル鶴岡

一般土木工事部門



株式会社マルゴ
現場技術員
本間 将さん
皇太神社線向沢橋上部工事



ナンバ建設株式会社
専務取締役
難波 裕朋さん
令和2年災林道花戸線
災害復旧工事



株式会社菅原工務店
土木課長
佐藤 潤一さん
市道大泉橋一日市町線
構造物撤去工事(線越明許)



菅原建設株式会社
土木主任
工藤 純さん
市道沢山木揚場線
構造物撤去工(橋脚)工事(線越明許)



菅原建設株式会社
土木部長
黒田 聰さん
善賀寺貝喰の池改修工事
岩川橋下部工(橋脚)工事(線越明許)

建築工事部門



株式会社マルゴ
建築部 建築課長
斎藤 嘉仁さん
鶴岡市屋内多目的運動施設
整備工事



十和建設株式会社
建築部 次長
白井 桂三さん
鶴岡市屋内多目的運動施設
整備工事



株式会社三浦土建
工事部 課長
佐藤 直さん
鶴岡市屋内多目的運動施設
整備工事



株式会社佐藤組
建築部
庄司 悠也さん
のぞみcafe nanairo新築工事



菅原建設株式会社
建築部長
佐藤 渉さん
あつみ温泉たこばなや改修工事

設計・監理及び委託業務部門



株式会社菅原設計
次長
板井 俊二さん
鶴岡市屋内多目的運動施設
整備工事監理業務委託



有限会社吉田建築設計事務所
所員
五十嵐 圭さん
鶴岡市屋内多目的運動施設
整備工事監理業務委託



株式会社新穂建築設計事務所
代表取締役
太田 泰司さん
鶴岡市屋内多目的運動施設
整備工事監理業務委託



株式会社佐藤工務
土木部
池田 隆成さん
一般廃棄物最終処分場
排水管整備工事(改築第2工区)



松田工業株式会社
工務部主任
丸山 正雄さん
城南町地内径100m配水管
更新工事

今回より
「SDGs部門」
が新設されました。

括弧内の番号は
「17のゴール・目標」
の番号となります。

No.7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに
No.11 住み続けられる
まちづくりを
No.14 海の豊かさを守ろう
No.15 陸の豊かさも守ろう

設備工事部門



桜井管工業 株式会社
常務取締役
齋井 勝広さん
鶴岡市屋内多目的運動施設
整備工事



アベ電工株式会社
工務部 課長
齋藤 主税さん
鶴岡市屋内多目的運動施設
整備工事



株式会社イタガキ
施工管理部 課長
上野 久雄さん
鶴岡市屋内多目的運動施設
整備工事



阿部コンクリート株式会社
(担当:製造部長 斎藤 秀晃さん)
①ゴミ溶融スラグ、フライアッシュを活用したリサイクル製品の製造 (No.11, 15)
②インフラ整備へマンホール製品およびその他の製品 提供 (No.11, 14)
③太陽光発電の導入 (工場屋根 70kW) (No.7)
④工場および事務所内にLED照明の導入 (No.7)

令和4年度 鶴岡市への要望事項

10月21日の常議員会にて議決された計26項目からなる、令和5年度に向けた要望書を、同25日に鶴岡市へ提出しました。要望書提出後の意見交換においては、急激な円安、原油・資材高騰など先行き不透明な厳しい環境の中、市内の事業所の経営安定化に向けた取り組みや、新型コロナウイルスへの積極的な対応について、多くの意見が交わされました。

主な新規要望事項等は以下の通り。



I.急激な円安、原油・資材高騰、電力危機による影響への積極的対応について

1.市内事業所の経営安定化に向けた対策の強化

- 燃料、資材、電気料金等の物価高騰の影響を受けた事業者に対する国・県と連動した経営支援強化
- 公共事業、委託、調達等に関して、急激な燃料、資材、電気料金等の現状に応じた適正価格での発注、速やかな「スライド制」の適用
- 建設資材高騰の中で、市のリフォーム補助制度等の補助金予算枠の拡大
- 円安・物価高騰及びコロナ禍の併存・長期化を見通した継続的中小事業者の支援や消費喚起施策の推進

II.新型コロナウイルス感染症による影響への積極的な対応について

1.市内事業所の存続・雇用の維持に向けた対策の強化及び地域経済の早期回復に向けた事業の展開について

- 地域経済社会を回すことによる主眼を置いたワクコロナ対策の新たな段階への移行促進と新たな経営継続支援の強化・継続

- 雇用調整助成金の特例措置における期間延長、上限要件維持の国への要請
- 事業者支援に主眼を置いた利用しやすいPayPayキャンペーン等消費喚起策・飲食店支援の推進

- 廃業による地域経済の縮小回避のため、事業承継に要する経費への支援

2.コロナ後を見据えた販路開拓・地域内取引の活性化及び観光誘客に係る施策の拡充について

- アフターコロナの地域経済再生に向けたビジョンと政策パッケージの策定(地方創生臨時推進交付金による国と連動した景気回復政策パッケージなど)

- 地域企業の実状にあった業態転換、事業再構築のための補助金新設・拡充

- コロナ後の需要拡大に向け深刻化が見込まれる働き手の確保策支援(リゾートバイトや外国人技能実習生などの取り込み支援、空き家を活用した受入れ体制の整備など働きやすい環境整備、受入れ企業への補助など)

- ふるさと納税の拡大に向けた市の本格的専門推進組織体制の構築

- 鶴岡泊まつてキャンペーン(鶴岡市民割)等の冬季における国や県と連動した観光需要・関連消費喚起策の再実施

- 鶴岡市に訪れる旅行企画商品に対する利用人数等に応じたインセンティブ付加の支援

- 地域企業のDXに向けたデジタル人材の確保支援

- 工事、物品及び役務等の地元事業者への優先発注、契約に係る入札参加要件の精査

III.人口減少、少子高齢化対策の推進

1.地域の産業経済を支える労働力の確保について

- 今後の構造的人手不足、雇用危機に対する抜本対策の推進
- 高校生・高専生、山形大学農学部、東北公益文科大学等の学生の地元企業就職への働きかけ強化、高校生等のインターンシップの活用促進のための総合的な仕組みの構築

2.産業人材・若手人材の育成について

- 意欲あふれる若い人材への支援の新たな仕組みづくり、新しいイノベーションの多発地帯を目指した取組み

3.少子化対策の拡充について

IV.社会資本の設備促進

1.日本海沿岸東北自動車道の整備促進について

- 早期完成に向けた要望活動の強化。特に県内陸地域と比較して遅れが際立っている高速道整備の格差解消の強調

2.東北横断自動車道酒田線の整備促進について

- 通学路の歩道の整備(No.345号)及びスクールゾーンの除雪の徹底

3.市内の交通網の整備促進及び安心・安全性の向上について

- 通学路の歩道の整備(No.345号)及びスクールゾーンの除雪の徹底

4.庄内空港の利用回復及び機能拡充について

- 庄内空港の増便に向けた次期羽田発着枠政策テストへの戦略的対応
- 冬期間における欠航抑制のための管制塔の冬季有人化の実現

5.羽越本線の高速化及び定期運行、羽越新幹線の整備促進について

- 羽越本線の整備、充実に向けた環境醸成、国や鉄道事業者と連携した協議の仕組みづくりとキャンペーン等を活用した利用促進の強化

6.災害に強い都市基盤の整備について

V.中心市街地の活性化

1.第2期中心市街地活性化基本計画に基づく事業の推進について

- 新たに拡充された市内循環バスの利用促進、及び中心商店街、市街地観光の活性化につながる施策の推進

2.中心市街地の居住、事務所機能の集積等に資する民間事業の活性化について

- 都市計画高度地区における高さ制限の緩和、運用基準の明確化

3.第3期中心市街地活性化基本計画の策定について

- 中心市街地活性化に向けた拠点整備(市民が中心商店街に足を運ぶような拠点、しきづくりの推進)

VI.産業の振興

【全般】

1.円滑かつ適時適切な施策の推進について

- 市長と議会の確執による市政運営の停滞を心配する市民・事業者の声を受け止め、コロナ禍で傷んだ市の経済再生に向け、市長と市会議が協力して、市民・事業者が求める課題解決に取組むこと

- 市当局職員が関係機関と連携して事業者の現場に足を運び、実態を学び理解したうえで支援施策にきめ細かく対応すること

2.会議所活動への支援拡充について

3.国・県及び市の支援施策の適切な情報提供について

- 来年度に迫ったインボイス制度への丁寧な支援及び導入経費への助成

4.酒田港の活用促進と機能強化について

- 地域産品の輸出拡大に向け庄内全体での酒田港の活用促進と機能強化【工業関係】

5.企業の立地及び設備投資等に係る基盤の拡充について

- 事業場設置助成制度の設備投資額要件(3000万円)等の条件緩和による地域企業における投資の促進

6.先端生命科学分野における産業集積及び産学官連携の促進について

- サイエンスパークと地域企業の緩やかな仲間づくりから進める連携支援

- 地域の高等教育機関が国の支援制度を活用しやすくする側面支援の強化

- 山形大学農学部への醸造研究科の設置検討

7.食文化創造都市の推進について

- 食のブランド化の一層の強化と共にに基づく情報発信・販路開拓の推進【商業関係】

8.TMO事業への支援強化について

【観光関係】

9.まちなか観光の推進について